

コロラド州：小麦作柄と気象状況

2003年8月5日

2003年8月3日現在：

8月3日に終わる週には、コロラド州各地に雷雨が発生し、有効な降水が記録された。1週間の州平均農作業日数は6.5日（前週：6.6日）であった。気温は平年以上であったが、土壌水分は多少改善された。

春小麦は昨年並びに5年平均より早い登熟している。作柄は良好である。

冬小麦の収穫は全州の99%の圃場にて完了した。（昨年同期：100%、5年平均：98%）。5年平均より多少早い、略昨年と略同じペースで完了した。

早魃であった昨年より単位収量は良い。冬小麦の品質は、昨年と比較し、蛋白質は低目であり、容積中は高い傾向である。民間機関のサーベ一の一例では、NE地区の冬小麦の平均蛋白質（水分：12%ベース）は11.44%（昨年：14.39%）、容積重の平均値は61.04lb/bu（昨年：59.37lb/bu）と発表された。

7月1日付けUSDAの冬小麦生産量予想では、別表の通り単位収量は35.0 bushel/acreと6月1日予想より2.0 bushels/acre増加した。

土壌水分：2003年8月3日現在

	Very Short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	37	34	29	0
Subsoil (%)	34	36	30	0

冬小麦生育状況：2003年7月27日現在

	This week	Last week	Last year	5-yr Ave.
Harvested (%)	98	85	100	96

Source：コロラド州農業統計局 (Colorado Agricultural Statistics Service)

コロラド州冬小麦作付面積の推移：2003年3月31日付けUSDA発表

	2001 Crop 1000 acres	2002 Crop 1000 acres	2003 Crop 1000 acres	2003/2002 Percent
作付面積	2,350	2,350	2,600	111

2003年7月1日付け農務省冬小麦の生産量予想：

	Area Harvested 1000 Acres		Yield Bushels/Acre			Production 1000 Bushels	
	2002	2003	2002	2003		2002	2003
				June 1	July 1		
Colorado	1,650	2,200	22.0	33.0	35.0	36,300	77,000

当該作柄レポートに関するご質問等は下記までにお問い合わせ致します。

小川正晃 : Email ogawa.max@omicnet.com